## 安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電などを防ぐため、下記の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

**カメラユーザーガイド（応用編）の「取り扱い上のご注意」も必ずお読みください。**

### ⚠ 警　告

- ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。
- お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。
- 落下などで、強い衝撃を与えないでください。カメラのストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。
- 煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 指定外の電池を使用しないでください。
- コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機専用です。他の製品には、お使いにならないでください。

ご相談窓口やホームページのご案内はカメラユーザーガイド（応用編）の裏表紙をご覧ください。

Canon

**キヤノン株式会社**

**キヤノン販売株式会社**

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

CDI-J208-010



Canon

CDI-J208

# キヤノンデジタルカメラ PowerShot A430

# カメラユーザーガイド

## はじめにお読みください

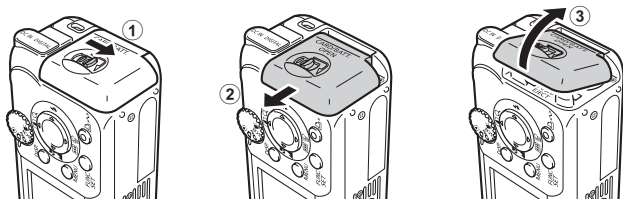
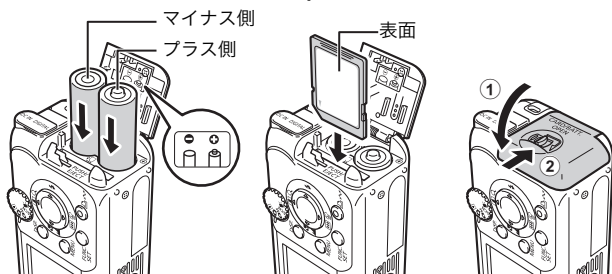
本書では、カメラの準備や基本的な使いかたを説明しています。

DPOF

# ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

## 電池とメモリーカードを入れる

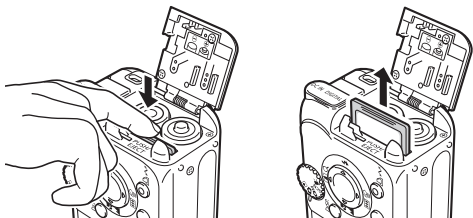
### 1 メモリーカードスロット/バッテリーカバーを開く

### 2 電池を入れ、メモリーカードを「カチッ」と音がするまで差し込み、メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じる

応用編：電池の取り扱い（p. 85）
応用編：メモリーカードの取り扱い（p. 87）
応用編：メモリーカードを初期化する（p. 29）

メモリーカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、本体の故障の原因となることがあります。

このカメラでは、SD*メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

*SD＝Secure Digital（著作権保護システム）の略

## メモリーカードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指でメモリーカードを奥に押し込んで放します。

# はじめてお使いのとき

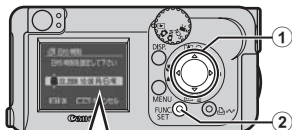
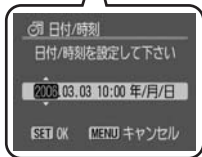
## 日付/時刻を合わせる

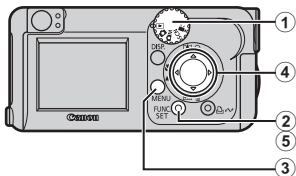
**1 電源スイッチを押す**

ランプ(上)が緑色に点滅します。電源を切るときは、もう一度電源スイッチを押します。

**DISP.** ボタンを押しながら電源スイッチを押すと、消音設定が[入]になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。

➔ 応用編：液晶モニターの使いかた（p. 15）
➔ 応用編：節電機能について（p. 20）
➔ 応用編：設定メニュー（p. 25）
➔ 応用編：マイカメラメニュー（p. 27）

**2** ◀▶で年月日、時刻、日付スタイルを選択し、▲▼で設定する（①）

**3** 正しい日時が表示されていることを確認し、FUNC./SETボタンを押す（②）
設定メニューでも日付／時刻を変更できます。(p. 11)

## メニューの表示言語を設定する

**1** モードダイヤルを▶（再生）にする（①）

**2** FUNC./SETボタンを押しながら（②）MENUボタンを押す（③）

**3** ▲▼◀▶で言語を選び（④）、FUNC./SETボタンを押す（⑤）
設定メニューでも言語を設定できます。(p. 11)

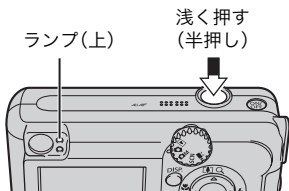
# 撮影する

## 1 モードダイヤルを (オート)にする

## 2 被写体にカメラを向ける

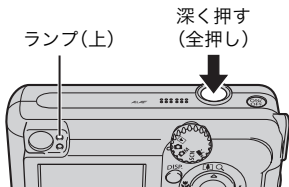
指がストロボにかからないようご注意ください。

## 3 シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる

ピントが合うと、電子音が「ピピッ」と鳴り、ランプ(上)が緑色に点灯します。

「ピッ」と1回しか鳴らないときは、ピントが合わせにくい状態です。

応用編：ピントの合いにくい被写体を撮る（p. 46）

## 4 シャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影する

シャッター音がして、撮影されます。
ランプ(上)が緑色に点滅し、メモリーカードに記録されます。

撮影時の基本的な機能（p. 5）
応用編：いろいろな撮影方法をご確認ください。
応用編：動画を撮る（p. 37）
応用編：ランプの点灯 / 点滅について（p. 19）

# 撮影直後に画像を確認する

撮影直後に約2秒間、撮影した画像が表示されます。
次の方法で設定時間に関わらず画像を表示し続けます。

- シャッターボタンを全押しし続ける
- 撮影した画像が表示されている間に **FUNC./SET** ボタンまたは **DISP.** ボタンを押す*

画面表示の解除のしかた:シャッターボタンを半押しします。

* スティッチアシストモード(p. 6)では、この操作はできません。

→ 応用編：画像の表示時間の変更方法（p. 24）
→ 消去する（p. 10）

# 撮影時の基本的な機能

## 撮影モードを選ぶ

撮影モードは、モードダイヤルとメニューを操作して選びます。

### モードダイヤル

**：オート**
カメラまかせで撮影できます。

**M：マニュアル**
6つの撮影モードが用意されています。
露出やホワイトバランス、マイカラーなどを自分で設定したり、パノラマ合成用の画像を撮影( 、 )できます。

**：動画**
動画用に設定するモードが用意されています。

**SCN：スペシャルシーンモード**
さまざまなシーンに合わせた8つの撮影モードが用意されています。

→ 応用編：動画を撮る（p. 37）

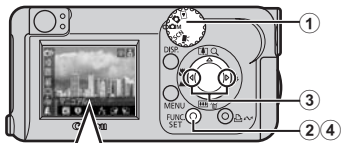
## 撮影モードの選びかた

撮影モードの選びかたは、M、SCN、のどの場合も同じです。ここでは、Mの場合で説明します。

**1** **モードダイヤルをMに合わせる（①）**

**2** **FUNC./SETボタンを押す（②）**

**3** **◀▶ でモードを選ぶ（③）**

**4** **FUNC./SETボタンを押す（④）**

## Mモードの種類

**マニュアル**
露出を補正したり、ホワイトバランス、マイカラーなどを自分で選んで撮影できます。

**スーパーマクロ**
マクロ（p. 9）よりさらに被写体に近づき、より大きく撮影できます。
レンズ前面から被写体までの距離：1 ～ 5cm（ワイド端固定）

➔ 応用編（p. 31）

**ワンポイントカラー**
画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。

➔ 応用編（p. 42）

**スイッチカラー**
画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。

➔ 応用編（p. 43）

**スティッチアシスト**
パノラマ合成用の画像を撮影できます。

➔ 応用編（p. 40）

## スペシャルシーンモードの種類

撮影モードを選ぶだけで、撮影シーンに最適な撮影ができます。

**ポートレート**
背景をぼかして人物を浮き立たせます。

**ナイトスナップ**
夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

**キッズ&ペット**
よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

**パーティー/ 室内**
蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

**新緑 / 紅葉**
新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。

**スノー**
雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。

**ビーチ**
太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。

**打上げ花火**
打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。

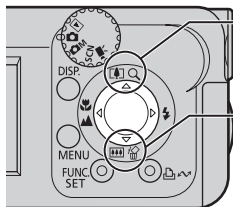
- （打上げ花火）では、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。
- （パーティー/室内）、（キッズ&ペット）、（ナイトスナップ）では、撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。
- （キッズ&ペット）は被写体から1m以上離れてお使いください。

## 動画モードの種類

シャッターボタンを押すと、動画を撮影できます。
「スタンダード」の他、メールの添付に便利な「ライト」、指定した色以外を白黒にして撮影する「ワンポイントカラー」、指定した色を別の色に変更して撮影する「スイッチカラー」を設定できます。

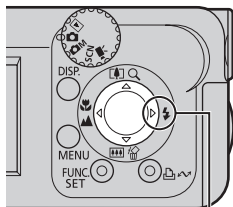
応用編：動画を撮る（p. 37）

# ズームを使う

35mmフィルム換算で、39～156mmの焦点距離範囲で画角を調整できます。

**望遠ボタン**
被写体を大きく撮ることができます。

**広角ボタン**
広い範囲を撮ることができます(被写体が小さくなります)。

# ストロボを使う

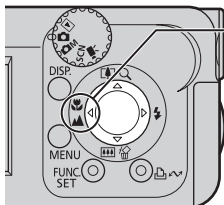
オート
赤目緩和 オート*
赤目緩和 常時発光*
常時発光
発光禁止
スローシンクロ

**ボタン**
押すたびにストロボの設定が変わります。
(撮影モードによっては設定できないことがあります)

＊赤目緩和：ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減する機能です。

- ストロボで撮影できる距離は、47cm～3.0m(広角)/47cm～2.0m(望遠)です。
- 液晶モニターがついているときにストロボの充電を開始すると、ランプ(上)が橙色に点滅し、液晶モニターが消えます。充電が完了すると、ランプ(上)が消灯し、液晶モニターがつきます。ストロボの充電時間は使用状況や電池の残量などにより変わります。

● 手ぶれ警告アイコン( )が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。
● ストロボ充電中は アイコンが点滅します。点灯に変わるまでお待ちください。

応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 112）

## 至近距離/遠距離のものを撮影する

**ボタン**
ボタンを押すと、液晶モニターに 、 のいずれかが表示されます。
解除するときは、 ボタンを押して または の表示を消します。

**（マクロ）** 花や小さなものなどに近づいて大きく撮ることができます。

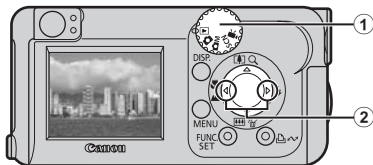
被写体に最も近づいたときの撮影範囲（撮影距離）
最も広角側：約52×39mm（レンズ先端から5cm）
最も望遠側：約64×48mm（レンズ先端から25cm）

**（遠景）** 風景など3m以上離れた被写体を撮るときに使います。遠くのものを撮るときに、近くのものにピントが合ってしまうのを防ぐのにも使います。

● マクロでは、液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使うと、撮影範囲がずれます。
● マクロでストロボを使うと、画像の明るさが適切にならないことがあります。

応用編：マクロよりもさらに近づいて撮る（p. 31）
応用編：デジタルズームで撮る（p. 32）
応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 112）

# 再生する

## *1* モードダイヤルを ▶ (再生)にする(①)

## *2* 画像を見る

◀▶ で画像を選びます(②)。
◀で前の画像、▶で次の画像を表示します。

➔ 応用編:いろいろな再生機能をご確認ください。
➔ 応用編:動画を見る (p. 58)

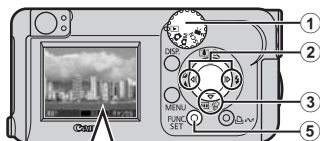
# 消去する

## *1* モードダイヤルを ▶ (再生)にする(①)

## *2* ◀▶ で消去したい画像を選ぶ(②)

## *3* 🗑 ボタンを押す(③)

## *4* [消去]が選択されていることを確認して(④)、FUNC./SETボタンを押す(⑤)

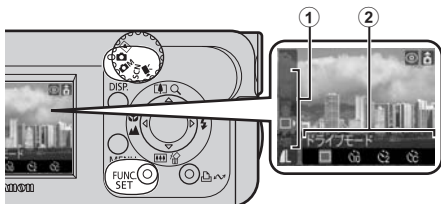
操作をやめるときは、◀▶ で[キャンセル]を選びます。

➔ 応用編:全画像を消去する (p. 64)

**消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。**

# メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付/時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC.メニューまたは撮影/再生/印刷/設定/マイカメラメニューを使って操作します。

## FUNC.メニュー

セルフタイマーや記録画素数など、撮影に関する設定を行います。

撮影モードのときに**FUNC./SET**ボタンを押す

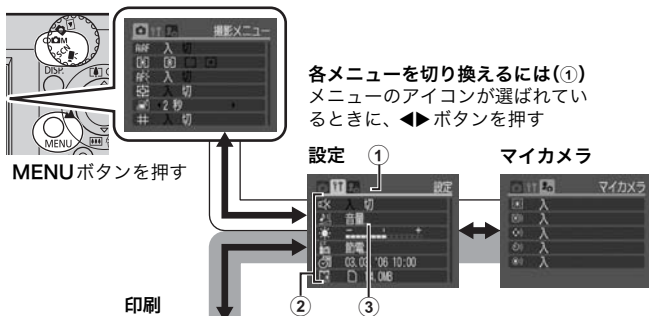
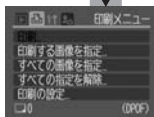
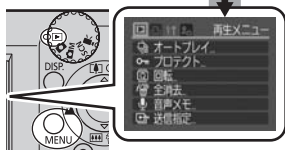
**項目を選ぶには(①)▲▼を押す**

**設定を変更するには(②)◀▶を押す**

**設定が終了したら**
**FUNC./SET**ボタンを押す

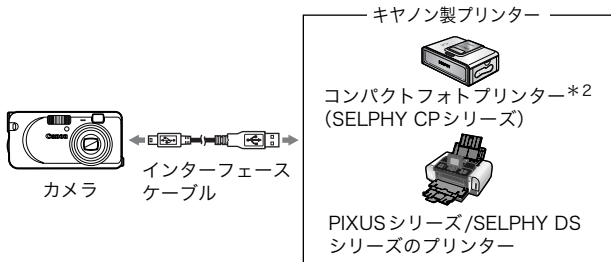
➔ 応用編：FUNC. メニュー項目の一覧（p. 23）

# 撮影/再生/印刷/設定/マイカメラメニュー

カメラの機能に関する設定を行います。[撮影メニュー][再生メニュー][印刷メニュー][設定メニュー][マイカメラメニュー]に分かれています。

➔応用編：メニュー項目の一覧（p. 23）

# 印刷する

カメラとカメラダイレクト対応プリンター＊1をケーブルで直接つなぎ、凸〜ボタンを押すだけで、簡単に印刷できます。

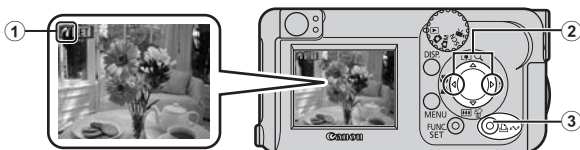
## 1 カメラとカメラダイレクト対応プリンターを接続し、プリンターの電源を入れる

＊1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外のPictBridge対応プリンターでも印刷できます。

＊2 カードフォトプリンターCP-10/CP-100/CP-200/CP-300もお使いになれます。

## 2 カメラを再生モードにして電源を入れ、液晶モニターの左上に、またはが表示されていることを確認する（①）

- 凸〜ボタンが青色に点灯します。
- 表示されるアイコンは、プリンターによって異なります。

## 3 ◀▶で印刷したい画像を選び（②）、凸〜ボタンを押す（③）

凸〜ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。

➔ 応用編：DPOF の印刷指定（p. 65）

➔ ダイレクトプリントユーザーガイド

➔ お使いのプリンターの使用説明書

# パソコンに画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いのOSによっては利用できない方法があります。あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成(p. 15)」でご確認ください。

## カメラとパソコンを接続する

| 付属のソフトウェア | インストールする | | インストールしない |
|---|---|---|---|
| 取り込む方法 | パソコンの操作 | カメラの操作 | パソコンの操作 |
| Windows 98 SE | ● | ● | – |
| Windows 2000 | ● | ● | – |
| Windows Me | ● | ● | – |
| Windows XP | ● | ● | ● |
| Mac OS X | ● | ● | ● |

パソコンに必要なシステム構成
- 基本編 p. 15
- ソフトウェアクイックガイド

カメラとパソコンを接続する
- 基本編 p. 17

パソコンに画像を取り込む
- 基本編 p. 18, 19
- ソフトウェアクイックガイド

（インストールしない場合）
- Windows XP、Mac OS X をお使いの方へ

## メモリーカードリーダーを利用する

上記のすべてのOSでお使いになれます。ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

# パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてお使いください。

## Windows

| | |
|---|---|
| OS | Windows 98 Second Edition (SE)<br>Windows Me<br>Windows 2000 Service Pack 4<br>Windows XP(Service Pack 1、Service Pack 2 を含む) |
| 機種 | 上記 OS がインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること。 |
| CPU | Pentium 500MHz 以上 |
| RAM | Windows 98 SE / Windows Me :128MB 以上<br>Windows 2000 / Windows XP :256MB 以上 |
| インターフェース | USB |
| ハードディスク空き容量 | ● Canon Utilities<br>- ZoomBrowser EX : 200MB 以上<br>- PhotoStitch : 40MB 以上<br>● Canon Camera TWAIN Driver : 25MB 以上<br>● Canon Camera WIA Driver : 25MB 以上<br>● ArcSoft PhotoStudio : 50MB 以上 |
| ディスプレイ | 1,024 × 768 ドット High Color(16bit)以上 |

## Macintosh

| | |
|---|---|
| OS | Mac OS X(v10.2 ~ v10.4) |
| 機種 | 上記 OS がインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること。 |
| CPU | PowerPC G3/G4/G5 |
| RAM | 256MB 以上 |
| インターフェース | USB |
| ハードディスク空き容量 | ● Canon Utilities<br>- ImageBrowser : 200MB 以上<br>- PhotoStitch : 40MB 以上<br>● ArcSoft PhotoStudio : 50MB 以上 |
| ディスプレイ | 1,024 × 768 ドット 32,000 色 以上 |

# 画像を取り込む準備をする

**必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。**

## 用意するもの

- カメラとパソコン
- カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
- インターフェースケーブル（必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。）

## *1* ソフトウェアをインストールする

**1. Canon Digital Camera Solution DiskをCD-ROMドライブにセットする**

**Macintosh**
CD-ROM内の[Canon Digital Camera Installer]アイコン（ ）をダブルクリックします。
インストーラーパネルが表示されたら[インストール]をクリックします。

インストーラーパネル

**2. [おまかせインストール]をクリックする**

**Macintosh**
[おまかせインストール]を選択し、[次へ]をクリックします。

インストール内容を確認しながら、インストールを進めます。

インストーラーパネル

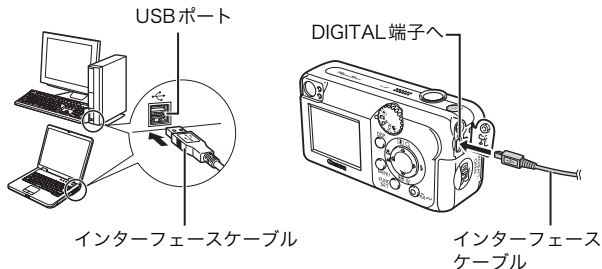
**3. インストールが終了したら、[完了]または[再起動]が表示されるので、表示されたボタンをクリックする**

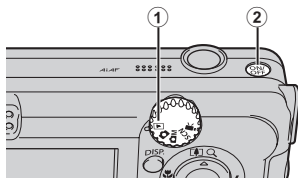
**Macintosh**
インストールが終了したら[終了]をクリックします。

4. 通常のデスクトップの画面が表示されたら、Canon Digital Camera Solution DiskをCD-ROMドライブから取り出す

## 2 カメラとパソコンを接続する

**1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する**

カメラの端子カバーは、左端に爪をかけて、手前に開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

**2. カメラのモードダイヤルを ▶ (再生)にし(①)、電源を入れる(②)**

カメラとパソコンが通信できる状態になります。

> カメラのDIGITAL端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

> **Windows**
> [デジタル署名が見つかりませんでした]と表示された場合は、[はい]をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USBドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

## Windows パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、初期設定を行うウィンドウが表示されます。

### *1* [Canon CameraWindow]を選び、[OK]をクリックする（初回のみ）

> 右のウィンドウが表示されない場合は、スタートメニューから[すべてのプログラム]または[プログラム]▶[Canon Utilities]▶[CameraWindow]▶[PowerShot – IXY – IXUS – DV 6]▶[CameraWindow]をクリックします。

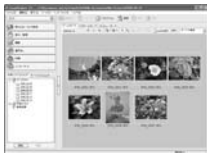
### *2* 画像を取り込む

- 「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
- 初期設定では、[マイピクチャ]フォルダに画像が取り込まれます。

カメラの操作で画像を取り込みます（p. 20）。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ZoomBrowser EXのメインウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

## Macintosh パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の[Canon CameraWindow]アイコンをクリックします。

### 1 画像を取り込む

- 「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
- 初期設定では、[ピクチャ]フォルダに画像が取り込まれます。

カメラの操作で画像を取り込みます（p. 20）。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

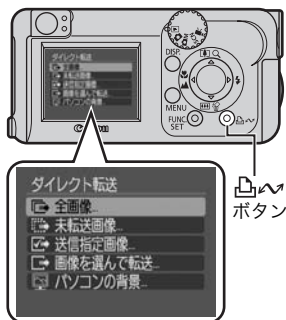
取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ImageBrowserのブラウザウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

サムネイル

# カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)

初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください(p. 16)。

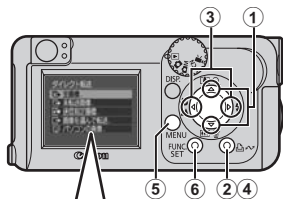
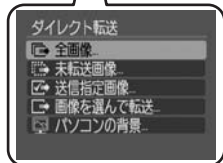
カメラとパソコンが接続されると、ボタンが点灯し、カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されます。
このとき、カメラ側の操作で画像を取り込めます。

ダイレクト転送画面が表示されない場合は、**MENU**ボタンを押してください。

ダイレクト転送では、次の転送方法が選べます。

| | |
|---|---|
| 全画像 | すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。 |
| 未転送画像 | まだ取り込んでない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。 |
| 送信指定画像 | 送信指定した画像(応用編 p. 68)だけをパソコンに取り込み、保存します。 |
| 画像を選んで転送 | 画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。 |
| パソコンの背景 | 画像を見ながらパソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。 |

## [全画像][未転送画像][送信指定画像]のとき

**▲▼で、、、のいずれかを選び(①)、ボタンを押す(②)**

画像がパソコンに取り込まれます。

- 取り込み中はボタンが青色に点滅します。
- 画像の取り込みが終了すると、ダイレクト転送画面に戻ります。
- 取り込みを中止するときは、**FUNC./SET**ボタンを押して(⑥)キャンセルします。

## [画像を選んで転送][パソコンの背景]のとき

***1*** **▲▼でまたはを選び(①)、ボタン(またはFUNC./SETボタン)を押す(②)**

***2*** **◀▶で取り込みたい画像を選び(③)、ボタン(またはFUNC./SETボタン)を押す(④)**

- 画像が取り込まれます。
- 取り込み中はボタンが青色に点滅します。
- インデックス再生時も画像を選べます。

***3*** **MENUボタンを押す(⑤)**

ダイレクト転送画面に戻ります。

[パソコンの背景]の場合、JPEG圧縮の画像のみが取り込まれます。Windowsをお使いの場合は、BMP画像が自動的に作られます。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。[画像を選んで転送]と[パソコンの背景]を選択していたときは、直ちに画像を選択する画面が表示されます。